

みらい

# 『米沢づくりは人づくり』

12月定例会『新米沢ブランドABC+DE』

3月定例会『青少年を育成する環境と教育の推進』

## “提言・提案”型での一般質問



一般質問の様子(3月2日、市議会議場で)

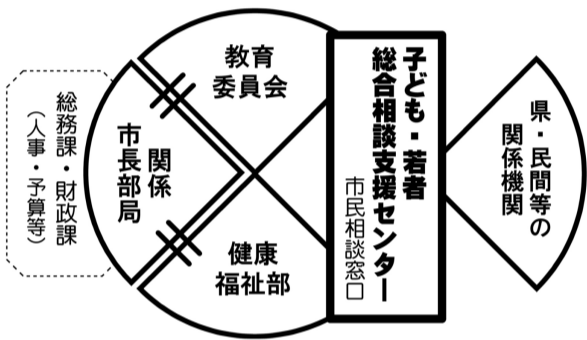
皆さんのご支援で議員にさせて頂いて、早1年の月日が経ちました。今思えばあつという問の1年で、がむしゃらに突っ走って来たように思います。改めて気づかされた『責任』『決断と決意』『熱い思い』。この3つは、政治家が持たなければならぬ三種の神器です。「米沢市をもっと良くしてほしい」将来安心できる街を創ってほしい。この皆さまの思いは、選挙

中から訴えてきた「米沢(みらい)づくりは人づくり」が基盤となります。これからは、私の政治士の志です。

それを踏まえ、定例会にて人材育成について質問いたしました。12月は『新米沢ブランドABC+DE』で新規就農拡充について、3月は『青少年を育成する環境と教育の推進』で若者支援拡充についてです。

12月の質問内容は、米沢味のブランドABCに『デザート(D)』としてのさくらんぼ、『E』としての有機E1のブランド化を提言しました。当局の答弁は、生産拡大や斉一性をどうしていくか戦略も練りながら考えていき、各種生産団体や

### ●『子ども・若者支援地域協議会』(案)



この法令を受けて山形県をはじめ県内各自治体では、まだ取り組みがなされていません。昨年6月の一般質問で取り組みを促したところ、青少年に関わる各課の取り組みについて情報交換を行うため、関係課からなる「子ども・若者育成支援に係る連絡協議会」を開催し、検討を始めたところで、この法律の終着点は、『子ども・若者支援地域協議会』を設置し横断的に子ども達を支援していく組織を創ることです。

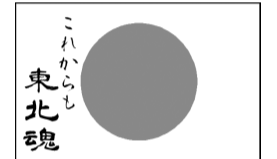
今までたらい回しにされてきた相談窓口を一本化する必要性は、今後の行政には当然必要なことと見做されています。協議会設置前段階として、市長部局と教育委員会が手を携え、庁舎内に支援センターの設置を訴えていき、形にしていきたいと思っております。

「議会の立場は？」という質問を頂いたことがあります。議員は、市長の追従機関ではありません。市長施策をチェックする精査機関であります。良いものは認め、悪いものは否する。これが議員のすべきことであり、是非々々でいく所存であります。二年目も決まれば、い志の持ち、走っていきたく思いますので、指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



相田みつてる 市政報告だより

平成26年新春版  
 発行者：相田光照  
 米沢市塩井町塩野1670番地  
 Tel&Fax：0238-21-4185・090-9637-1834  
 HP: <http://www.facebook.com/koshi.kai>



インターネットからも活動報告が見られます！

「紙面以外でも活動の様子が見てみたい」という要望がありましたので『フェイスブック』で日々の活動を掲載しております。閲覧方法は、インターネットで『フェイスブック』のページへ。登録は簡単。完了し「友達検索」という欄にて『相田光照』を探していただくと、簡単に日々の活動をご覧いただけます。是非、ご利用していただき、活動の様子をご覧ください！

# 『新会』タウンミーティング開催



タウンミーティングの様子 (手前から3人目 3月27日、伝国の杜で)

現存会派では初開催 約90名の市民と

「議会ってよくわからない」「議会って何があるのかわからない」という声に、25日朝刊に折込チラシをお入れしたところ約90名の市民の皆さまに参加していただきました。

「議会ってよくわからない」という声に、25日朝刊に折込チラシをお入れしたところ約90名の市民の皆さまに参加していただきました。

「議会ってよくわからない」という声に、25日朝刊に折込チラシをお入れしたところ約90名の市民の皆さまに参加していただきました。

「議会ってよくわからない」という声に、25日朝刊に折込チラシをお入れしたところ約90名の市民の皆さまに参加していただきました。

## きもの議会開催

3月定例会初日、恒例の『きもの議会』が開催されました。このきもの議会は、昭和54年に米沢の基幹産業である『米沢織』の重要性に鑑み、3月定例会初日に議員・職員全員の着用を申し合わせて今日に至っています。私もお結婚式以来、人生2回目の着用を着用いたしました。いやあ、どうも「似合わない！」



きもの議会での様子(中村・洪間議員と 2月27日、市議会議場で)

私自身初の試みで、実際に行ってみると反省点が多々ありました。より多くより広く市民の皆さんに議論の内容や様子をお伝えし、多くのご意見を聞き、議会に反映させたい！

そんな思いが強まったタウンミーティングでした。

# 議員は日々研鑽

## 研修・政経塾での学びなど

「日々研鑽」。

どのような立場でも、どのような仕事でも自己成長のためには、勉強が必要だ。特に議員は、市が抱える様々な案件について、知っておかなければなりません。

毎日議会会派室に赴くか、要望の聞き取りに向かうようにしています。その学びと市に還元できる事項についてご紹介したいと思います。

**被災地廃棄物の受け入れ**

いち早く被災地がれきの受け入れを行った山形県。米沢では、ジークライト(株)と(株)エコス米沢で廃棄物の受け入れを行っています。そこで、議員・当局職員有志で9月20日、ジークライト(株)に赴き、状況視察をしてきま

**先進都市の取組**

民生常任委員会で訪れた、山梨県南アルプス市では、川の急勾配を利用して、タービンを旋回させ

**各種団体との意見交換**

障がい者の通所事業所連絡会と意見交換会が行われました。通所事業所のほとんどは、NPO法人あり補助金がなくては運営できない現状があります。障がい者の方々が日々働く場所があること

**オストメイトへの理解**

昨年度初当選組は、同期会を発足し定例会後に必ず研修会を催してあります。1月30日は、市立病院渡辺香織(皮膚・排泄ケア認定)看護師を講師招聘し、オストメイト(人工肛門装着者)の理解について学びました。その方々が利用するオストメイトトイレは、米沢市の設置場所として置賜総合支庁・米沢四中仮設校舎・松川コミュニティセンター・民間スーパー等、8ヶ所しかありません。全国には約40万人、市内では約160名の方がおります。安心して米沢へ観光に来ていただけるよう、今後さらなる設置が必要であります。

**林英臣政経塾**

全国展開している『林英臣政経塾』。今年から東北講座(仙台会場)が新設されたのに伴い、渋間・中村両議員と共に入塾いたしました。林英臣先生は、松下政経塾一期生であり、野田佳彦総理大臣とは同期です。

この政経塾の主たる教えは、政治を志す者として『心と精神を鍛える』ことと『日本史と正確な国家観』です。なぜ、地方議員が歴史と国家観を？とお思いの方も多々と思います。しかし、歴史を認識しないと現代の課題がわからず、将来ビジョンも描けません。それ故、不満や要望を聞くだけのご用開きの議員としか言えず、一本筋の入った議員とは言えないのです。なぜ皆さんが困っているのか？その本質的原因は何か？困らないようにするにはどんな政策や教育が必要か？歴史や人間学、哲学を学んで、そうしたことを考え提案・啓発するのが政治家の仕事だと、私は考え、それを林塾で教えて頂きました。

当選後、6月の石巻を皮切りに、10月多賀城・七ヶ浜、11月名取、2月相馬、3月松島と被災地へ赴きました。各地とも復興状況に温度差がある現状を目の当たりにしてきました。特に多賀城市では、幹線道路沿いの店舗や住宅は、真新しく修繕されていましたが、一歩目に見えない住宅地に入ると津波が襲ってきた状況が、そのままの姿で残っています。波の高さがうかがえる泥のライン、倒壊したままのタンスや戸棚、床下に積上するヘドロ。3月11日で時間が止まったままです。

午前中から始めた作業。波が運んできた残骸を集積し、床下のヘドロ



上左：震災がれき状況(9月20日、ジークライトで)  
 上右：山梨県金山沢川水力発電の様子(10月18日、南アルプス市で)  
 中左：市内通所事業所視察の様子(12月12日、フラワーコート米沢で)  
 中右：林英臣政経塾の東北講座のメンバーと(1月18日、京都市で)  
 下左：オストメイト(人工肛門装着者)の理解について(1月30日、議会委員会室で)  
 下右：幼稚園連合会と幼保議員連盟との意見交換会(2月24日、サルトリル米沢で)

で、社会自立を成している様子は、福祉に携わってきた人間として嬉しい反面、より良い支援拡充の必要性を感じました。幼稚園連合会との意見交換会は、担当課不在さが大きな問題となっている現状を垣間見ました。幼稚園事業の窓口が「教育委員会」なのか「子ども課」なのか。市民皆さまにも周知されておらず、戸惑いが生じているそうです。米沢市の担当は、幼児教育ではありません。東北講座(仙台会場)が新設されたのに伴い、渋間・中村両議員と共に入塾いたしました。林英臣先生は、松下政経塾一期生であり、野田佳彦総理大臣とは同期です。

「恩に報いる誓い」

議員になってから、存在そのものが元氣になれたし励みになっていた。もし気がなれば「骨太」に、そして、敏速に対応できる「筋肉」を付けていくことが、今年度、私に課せられた大きな役割であるように思う。それが出来て初めて、みんなの恩に報いることではないだろうか。

今日は、夜の会合が何もない。「我を忘れるほど」は飲まないにしろ、故人の後援者との思い出に更けながら、「酔うことも人間の特権だ」と思う。そして、期待される議員になることを誓い、ご冥福を祈りたい。

# 東北魂 つづけよう

震災支援は続けます！皆さんと共に…

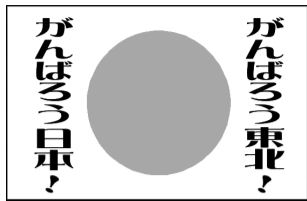
当選後、6月の石巻を皮切りに、10月多賀城・七ヶ浜、11月名取、2月相馬、3月松島と被災地へ赴きました。各地とも復興状況に温度差がある現状を目の当たりにしてきました。特に多賀城市では、幹線道路沿いの店舗や住宅は、真新しく修繕されていましたが、一歩目に見えない住宅地に入ると津波が襲ってきた状況が、そのままの姿で残っています。波の高さがうかがえる泥のライン、倒壊したままのタンスや戸棚、床下に積上するヘドロ。3月11日で時間が止まったままです。

午前中から始めた作業。波が運んできた残骸を集積し、床下のヘドロ



津波被害を受けたアパート(10月21日、多賀城市で)

を取り終わる頃には、日が傾いていました。作業を終え私に残ったのは、達成感や充足感ではなく、同様の住宅が残っているこの現状に対する憂鬱感と積鬱感でした。まだまだ支援が必要です。続けることが大切です。私は、東北魂を持ち、続けていきます。



号外1号

発行者：相田光照

米沢市塩井町塩野1670番地

Tel&Fax：0238-21-4185  
090-9637-1834

Mail：saraborn@ms5.omn.ne.jp

# 8月までの議員活動

- 4月26日：当選証書授与式 29日：塩井小学校歓送迎会
- 5月2日：入会会派届出切 6日：全員協議会 17日：全員協議会  
18日：臨時議会 20日：農業委員会委嘱状交：農業委員会臨時総会  
24日：新人議員研修会 29日：消防第7分団演習 31日：民生常任委員会
- 6月1日：被災地支援活動 3日：農業委員会運営委員会：市政協議会  
7日：農業委員会農事相談・地域協議会 8日～9日：農業委員会視察研修【富山県砺波市】  
11日：農業委員会元気村定植 13日～30日：定例議会 14日：山形大学有機EL研究センター研修会  
20日：定例会一般質問 22日：民生常任委員会 24日：予算委員会 26日：塩井地区独居高齢者交流会  
27日：農業委員会婚活専門委員会 30日：議会最終日：農業議員連盟総会
- 7月1日：米沢市老人クラブレクリエーション大会開会式 4日：塩井小学校創立記念式  
6日～7日：一新会会派研修【東京都】 11日：農業委員会農地部会  
12日：農業委員会全員協議会・世話人会 13日：農業委員会世話人会 19日：上杉ロータリークラブ講演会  
20日：農業委員会選任書交付式・第一回総会 22日：道路建設北部地区促進協議会総会  
24日：米沢市消防団操法大会 25日：民生常任委員会：学童保育議員連盟懇談会  
27日：南陽白鷹線塩井バイパス期成同盟会総会 28日：市政協議会
- 8月3日：農業委員会運営委員会 5日：農業委員会（農事相談） 8日：農業議員連盟研修会  
9日：農業委員会農地部会：臨時議会：山形県市議会議長会研修会【山形市】  
11日：農業委員会婚活専門委員会 23日：民生常任委員 24日：農業委員会婚活専門委員会  
25日：悪臭特別委員会研修会 26日：市政協議会  
27日：佐藤五三郎前農業委員会会長受章祝賀会：光士会地区役員市政報告会  
28日：一新会議員研修会【山形市】 30日：農業委員会新任農業委員研修会【山形市】  
31日：農業委員会婚活専門委員会

※要望・懇親会等に関する活動は、記載いたしておりません。